

投稿日:2020年06月22日

タイトル:それでも地球は動く

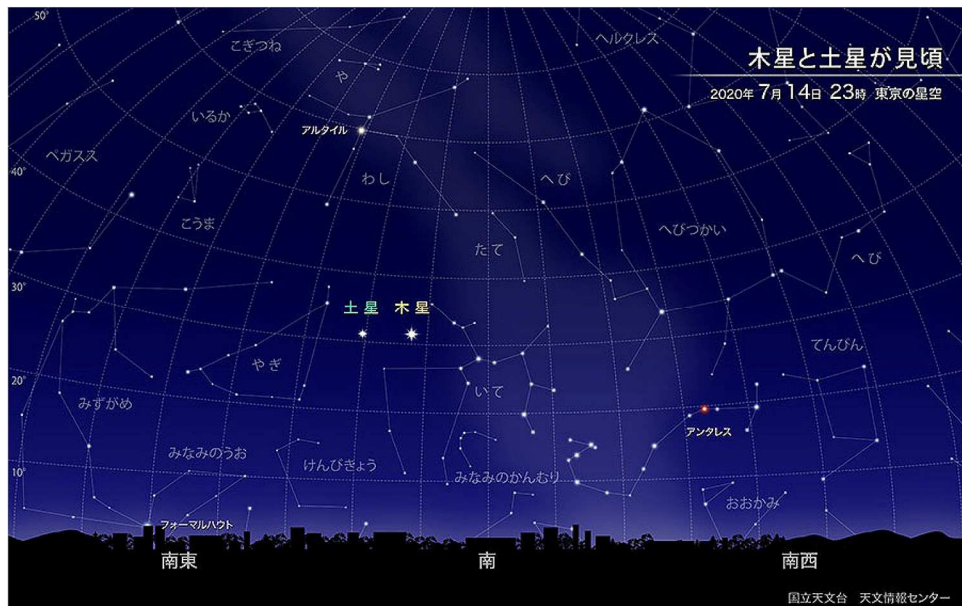


17時 30分 16℃ 天気:曇り

イタリア人のガリレオはカトリック教会による裁判で有罪判決を受けたのち、そうつぶやいたといわれています。

こんな話を聞いたことのある人も多いのではないのでしょうか。いまから387年前の1633年6月22日のことです。

ガリレオはみずから改良したガリレオ式望遠鏡を使って木星の衛星、月面の凹凸(=クレーター)、太陽の黒点などの発見をした人物です。学者一家の家系に生誕し物理学・天文学に多大な貢献をして「天文学の父」とも呼ばれました。



それまで信じられていた地球の周りの宇宙が動く「天動説」に対し太陽系では太陽を中心に地球を含めた星が動いているというコペルニクスとなえた「地動説」を数学的データを使いケプラーと同時代に理論的に検証しました。

キリスト教では神が創造したとされる「天動説」に反する「地動説」をとねえることは聖書に反するとする動き、また権力争いの論点として利用されていたこともあったようです。

2020年の今日、宇宙科学は発展し太陽の周りを惑星が周回する太陽系が含まれる天の川銀河、おとなりののアンドロメダ銀河の存在やアルマ望遠鏡などの画像によるデータでおうちのPCでもすぐに検索できる時代となっています。電波望遠鏡により185億光年先までのデータを集め、そこにはさらに多くの星が存在することが分かっているようです。

こんな今日の歴史を聞いて、今は調べようと思えばいくらでも可能な時代になりましたから時代背景や社会構造なども含めて自分自身が今後どんな風に生きて行こうかな、なんて考えてみるのもいいのかもしれないね。☺ (ま)